

# SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サイト)とは?

## 「友達の友達はみな友達!？」

そもそもネットは情報を発信するスペースで、利用方法によって、どのような形で発していかのの違いでしかありません。

前々月取り上げたブログもまた、情報を発信する為の仕組みのようなものです。今年、その一つとして、情報発信の範囲を狭めて、実生活で本当にかかわりのある人や関連する集まりだけを対象にしたネットワークが、爆発的に流行しました。SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サイト)です。

本年最後のキューブ通信は、この話題を取り上げたいと思います。



キューブ君

ソーシャル・ネットワーキング・サイトは不特定多数の相手に情報を発信するのではなく、ごく限られた知り合いや、知り合いの知り合いだけに、自分の日記や読んだ本や音楽の感想などを伝える手段として利用されています。会員になるためには会員の紹介が必要というのが前提です(近頃は紹介なしで入れるSNSも存在します)。

特に有名なのが**ミクシー**(mixi 下)で、つい先月上場して、大きな話題になりました。



現在700万人が参加しているということですが、友達だけではなく、まったく見知らぬ人とも知り合いになれる仮想サークルのような機能もあります。

また、友達として登録してもらくと、友達の友達を確認できますので、そこから様々な友達の輪が広がっていくことになります。

誰かが自分のページを訪れると、「足あと」として来訪履歴が残る仕組みもあります。逆に自分が見に行ったことを相手に知ってもらうこともできるわけです。日記に関しては、「友人まで公開」「友人の友人まで公開」といったように限定もできますので、ごくプライベートな内容であれば、全体に公開しないことも可能です。登録は本名であることが望ましいとされていましたが、いろいろ問題もあって、ニックネームで登録する人が多くなりました。個人名の場合、大学の同級生とか、懐かしい人と再会できるかも、というのが一つのメリットですが、デメリットも少なくないからです。ネットの世界では、名前が特定されると芋づる式に個人データが検索されてしまう可能性があります。検索エンジンなどにはあらゆるデータが蓄えられていますので、所属会社や、学校、会員組織などがまったく見ず知らずの人に知られてしまうかもしれません。そういったデータを悪用する人間もまた、ネット上に存在しています。ネットに限らず、個人データは極力守った方が安全かと思います。どんな便利なツールも使いようということでしょうか。

## SNSの可能性について

さて、ミクシーがひとり勝ちのように見える日本のSNSですが、現在いろいろな企業がこのSNSに参入してきています。

ソフトバンクはアメリカのSNS「マイスペース」と提携し、約1億2500万人の会員を有する同SNSの日本上陸を支援しようとしています。アメリカ最大手の参入で、他のSNSの機能アップやサービスの向上などが期待されます。

また、近頃流行のきざしを見せているのが、個人SNSです。ミクシーのような仕組みを個人や会社で持ってしまうおうというのです。部外者を完全にシャットアウトし、本当に情報を共有したい人や組織だけのサイトを構築することができます。社内データベースを作り情報の共有化を図る、日報システムを作る、学校やサークルの連絡網を作る、また、顧客サービスとしてお客様専用ページを作る、などなど、多くの用途が考えられます。近頃は導入のためのパッケージなども出ており、ちょっとした専門知識があれば構築可能です。様々な可能性を秘めたSNS、来年の展開が楽しみです。

お問合せはこちら

株式会社  
アイ・シー・キューブ

〒310-0021

水戸市南町3-3-43

小林ビル5F

TEL 029-228-0116

FAX 029-233-0882

『第6回 ITマーケティングセミナー』  
12月21日開催! 顧客データベースの活用法を中心に最新のITマーケティングをご紹介します。

詳しくは  
ホームページでご確認ください  
<http://www.ic3.co.jp> 『セミナーのご案内』